

注 意 報

平成18年度病害虫発生予察注意報第4号

平成19年2月2日
熊 本 県

農作物名 イチゴ

病害虫名 ハダニ類

1 発生地域 県内全域（イチゴ栽培地域）

2 発生程度 平年比 多

3 注意報発令の根拠

- (1) 1月中旬に実施した巡回調査では、寄生葉率は6.9%（平年 4.7%）と平年よりやや高く、発生ほ場率は57.1%（平年26.7%）と平年より高かった（図1、図2）。
- (2) ハダニ類の発生は例年、1月以降春期にかけて増加し、1月の発生が多い年は春期まで多い状況が続く。
- (3) 気象予報によると、2月～4月の気温は平年より高いと予想されており、本虫の増殖に好適である。
- (4) (1)～(3)から、今後ほ場でのハダニ類の発生は増加し、春期の密度は平年よりも高くなる恐れがある。

4 防除方法

- (1) ハダニ類は下葉の裏に多く寄生しているので、薬剤防除の際は、薬液が葉裏に十分かかるように不要な下葉を除去した後、丁寧に散布する。
- (2) ハダニ類は、低密度時はハウス内の一部分で発生し、発見しにくいので、ハウス内をよく見回り、早期発見・初期防除に努める。
- (3) 寄生葉や葉かぎ後の葉はハウス外に持ち出し、ビニール袋等に入れ密閉処分する。
- (4) ハダニ類は薬剤抵抗性がつきやすいので、同一系統薬剤の連用は避け、系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
- (5) 農薬は、登録のあるものを使用し、ラベルなどで使用方法を確認し、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守して農薬の安全使用に努める。

図1. ハダニ類の発生状況(巡回調査の結果)

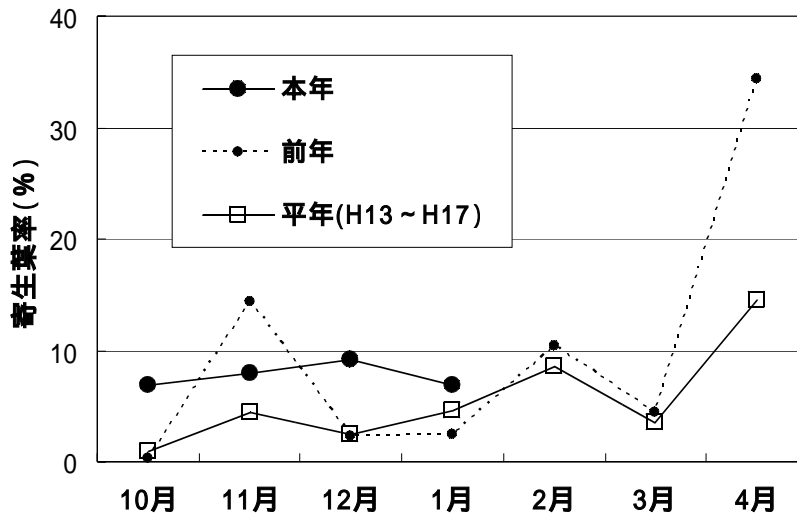
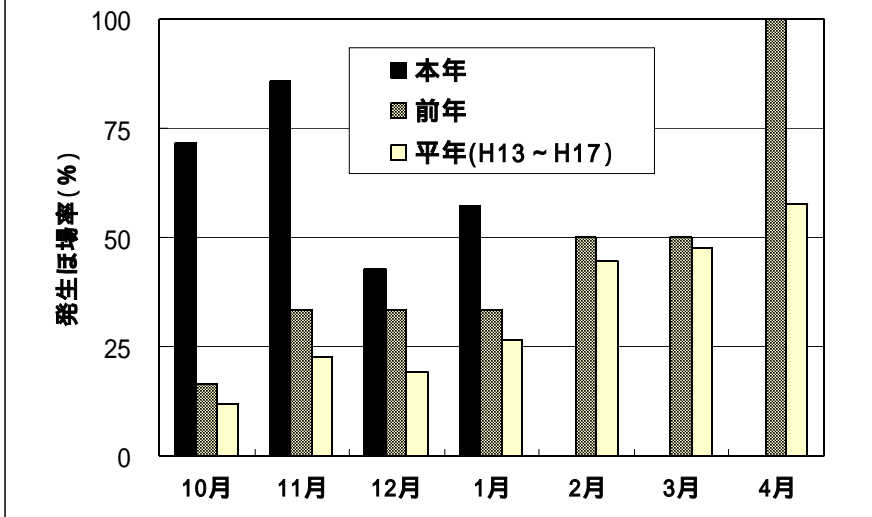


図2. ハダニ類の発生状況(巡回調査の結果)



今後のハダニ類の発生状況については、病害虫防除所のホームページ (<http://www.jpjn.ne.jp/kumamoto>) をご参考ください。